

青森県埋蔵文化財調査センター

要 覧

〔令和5年度の実績・令和6年度の計画〕



令和6年度

目 次

| | |
|--------------------|---|
| 青森県埋蔵文化財調査センター運営方針 | 1 |
|--------------------|---|

令和5年度の実績

| | |
|--------------------------|----|
| 1 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業 | |
| （1）発掘調査事業 | 2 |
| （2）整理・報告書刊行事業 | 3 |
| 2 出土品等の保存・再整理 | |
| （1）保存処理 | 4 |
| （2）再整理 | 6 |
| 3 発掘調査事業に係る広報 | |
| （1）現地見学会 | 7 |
| （2）あおもり発掘フェア | 7 |
| 4 センター収蔵資料の活用 | |
| （1）主催事業 | 8 |
| （2）依頼による活用事業 | 13 |
| 5 刊行物一覧 | 17 |

令和6年度の計画

| | |
|--------------------------|----|
| 1 組織・職員現員・業務 | 18 |
| 2 埋蔵文化財発掘調査事業、整理、報告書刊行事業 | |
| （1）発掘調査事業 | 19 |
| （2）整理・報告書刊行事業 | 21 |
| 3 出土品等の保存・再整理 | |
| （1）保存処理 | 21 |
| （2）再整理 | 22 |
| 4 発掘調査事業に係る広報 | |
| （1）現地見学会 | 22 |
| （2）あおもり発掘フェア | 22 |
| （3）所内展示 | 22 |
| 5 センター収蔵資料の活用 | |
| （1）主催事業 | 22 |
| （2）依頼による活用事業 | 23 |
| 6 令和6年度主要行事予定 | 24 |

資 料

- 1 図書を受入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 2 文化財関係研修等への参加状況・・・・・・・・・・ 24

沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

青森県埋蔵文化財調査センター運営方針

青森県埋蔵文化財調査センターは、県内の埋蔵文化財の発掘調査を行い、調査で得られた出土文化財や記録類を県民共有の財産として適切に収蔵・保管するとともに、その有効活用を図り、もって県民の文化の振興に資するため、次の事業を実施します。

- ① 埋蔵文化財の発掘調査の企画及び実施
- ② 埋蔵文化財の研究及び発掘調査報告書の刊行
- ③ 出土品その他の資料の整理、保存及び活用
- ④ 埋蔵文化財の調査及び保存に関する研修等市町村の支援
- ⑤ 埋蔵文化財に関する情報の収集及び埋蔵文化財保護の啓発

【令和5年度の実績】

1 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業

開発事業により消滅する埋蔵文化財包蔵地を発掘調査し、記録保存のための報告書を作成・刊行する。

(1) 発掘調査事業

令和5年度は、5事業・5遺跡の発掘調査事業を行った。調査面積は8,020㎡、出土遺物箱数は段ボール箱136箱である。職員11名(延べ16名)が業務に従事した。

ア 国道394号榎林バイパス道路改築事業(七戸町鉢森平(7)遺跡)

所在地 上北郡七戸町字鉢森平地内
調査期間 令和5年5月9日(火)～令和5年8月31日(木)
調査対象面積 1,450㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱43箱

イ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業(横浜町林ノ後遺跡)

所在地 上北郡横浜町字林ノ後、字中椈名木地内
調査期間 令和5年9月1日(金)～令和5年10月13日(金)
調査対象面積 3,000㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱1箱

ウ 常海橋銀線道路改築事業(青森市郷山前村元遺跡)

所在地 青森市浪岡大字郷山前字村元地内
調査期間 令和5年5月9日(火)～令和5年7月28日(金)
調査対象面積 1,670㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
出土遺物 段ボール箱2箱

エ 弘前柏線道路改築事業(弘前市鳴瀬遺跡)

所在地 弘前市大字三世寺字鳴瀬地内
調査期間 令和5年9月5日(火)～令和5年10月27日(金)
調査対象面積 900㎡
委託者 青森県県土整備部(道路課)
調査結果 段ボール箱1箱

オ 新青森県総合運動公園整備事業(青森市米山(2)遺跡)

所在地 青森市大字宮田字米山地内
調査期間 令和5年6月6日(火)～令和5年9月22日(金)

調査対象面積 1,000㎡
 委託者 青森県県土整備部（都市計画課）
 出土遺物 段ボール箱89箱

◇発掘調査実績

| 年 度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 事業数 | 7 | 7 | 6 | 5 | 5 |
| 遺跡数 | 9 | 7 | 6 | 7 | 5 |
| 調査面積(㎡) | 26,816 | 18,000 | 12,200 | 25,930 | 8,020 |
| 出土遺物箱数 | 485 | 484 | 503 | 227 | 136 |

(2) 整理・報告書刊行事業

令和5年度は、6事業・8遺跡の整理・報告書刊行事業を行った。刊行した発掘調査報告書は4冊・5遺跡、計1,546頁で、令和6年度以降の報告書刊行を予定し整理作業を行った遺跡は3遺跡、424頁相当である。

ア 国道279号むつ南バイパス道路改築事業（酪農（3）遺跡）

所在地 むつ市大字田名部字内田地内
 刊行頁数 1,100頁
 委託者 青森県県土整備部（道路課）

イ 国道394号榎林バイパス道路改築事業

(ア) 鉢森平(6)遺跡

所在地 七戸町字鉢森平地内
 刊行頁数 48頁
 委託者 青森県県土整備部（道路課）

(イ) 鉢森平(7)遺跡

所在地 七戸町字鉢森平地内
 整理頁数 300頁相当（令和6年度刊行予定）
 委託者 青森県県土整備部（道路課）

ウ 八戸環状線道路建設事業（天久岱工区）

(ア) 毛合清水（3）遺跡

所在地 八戸市大字尻内町字毛合清水、北熊ノ沢地内
 刊行頁数 350頁（北熊ノ沢（2）遺跡と合本）
 委託者 青森県県土整備部（道路課）

(イ) 北熊ノ沢(2)遺跡

所在地 八戸市大字尻内町北熊ノ沢地内
 刊行頁数 350頁（毛合清水（3）遺跡と合本）
 委託者 青森県県土整備部（道路課）

エ 国道454号特定交通安全施設整備事業（戸来館遺跡）

所在地 三戸郡新郷村大字戸来字館神地内
刊行頁数 48頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

オ 弘前柏線道路改築事業（鳴瀬遺跡）

所在地 弘前市大字三世寺字鳴瀬地内
整理頁数 74頁相当（令和6年度刊行予定）
委託者 青森県県土整備部（道路課）

カ 新青森県総合運動公園整備事業（米山（2）遺跡）

所在地 青森市大字宮田字米山地内
整理頁数 50頁相当（令和7年度以降刊行予定）
委託者 青森県県土整備部（都市計画課）

◇報告書刊行・整理事業実績

| 年 度 | | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-----------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 総事業数 | | 8 | 6 | 7 | 6 | 6 |
| 総遺跡数 | | 12 | 7 | 7 | 5 | 8 |
| 報 告 書 刊 行 | 遺跡数 | 10 | 7 | 6 | 3 | 5 |
| | 冊数 | 8 | 7 | 6 | 4 | 4 |
| | 集番号 | 第607集～ 第614集 | 第616集～ 第622集 | 第625集～ 第630集 | 第633集～ 第636集 | 第641集～ 第644集 |
| | 総頁数 | 1,086 | 1,854 | 1,142 | 432 | 1,546 |
| 整 理 | 遺跡数 | 2 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| | 相当頁数 | 140 | 0 | 250 | 900 | 424 |

2 出土品等の保存・再整理

（1）保存処理

発掘調査で出土した木製品や金属器等の脆弱な出土品は、そのまま空气中に保管すると乾燥による収縮、ひび割れ、酸化や錆等の劣化が進行するため、出土時の形状や状態を保つための保存処理が必要である。当センターでは、平成10年度に保存処理のための機器を導入して、出土品の保存処理を実施している。

ア センター内部での保存処理

令和5年度は、発掘調査報告書掲載出土品や非掲載出土品について、刊行時に保存処理を行わなかったものの保存処理を実施した。

◇令和5年度の実績

第526集 五所川原市十三盛遺跡出土木製品17点 PEG含浸処理・真空凍結乾燥法
第547集 弘前市蔵主町遺跡 銅製品3点 BTA安定化処理

第636集 五所川原市石田（2）遺跡 鉄製品1点 脱塩処理・樹脂含浸強化処理

◇保存処理実績

木製品

| 種別\年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 点数 | 0 | 0 | 35 | 0 | 17 |

※元年・2年・4年度は機器の不調のため処理業務実績なし。

金属器

| 種別\年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 点数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |

※元年～4年度は機器の不調のため処理業務実績なし。

イ 委託による再保存処理

当センター収蔵の木製品や金属器のうち、報告書刊行後に経年劣化がみられるものについて、委託により再保存処理を行った。平成29年度から文化庁の国庫補助事業を活用し実施している。

◇令和5年の実績

第415集 八戸市林ノ前遺跡出土鉄製品5点

内訳：鉄鏃2点、馬具（鉸具）2点、錫杖状鉄製品1点

◇再保存処理の実績

| 種別\年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 木製品 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 鉄製品 | 1 | 3 | 3 | 4 | 5 |
| 銅製品 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 |

ウ X線透過撮影装置の使用

出土品の保存処理前に、内部構造や劣化状態を把握するため、X線透過撮影装置による撮影を行うものである。令和5年度の実績は以下のとおり。

◇令和5年度の実績

第93集 八戸市売場遺跡 鉄製品1点

第152集 青森市朝日山遺跡 鉄製品2点

第547集 弘前市蔵主町遺跡 銅製品2点

第575集 西目屋村水上（2）遺跡 土偶1点

第633集 横浜町林ノ脇遺跡 鉄製品5点

第636集 五所川原市石田（2）遺跡 木製品4点

第636集 五所川原市石田（2）遺跡 鉄製品2点

第636集 五所川原市石田（2）遺跡 銅製品1点

第643集 八戸市北熊ノ沢（2）遺跡 鉄製品27点

未報告 七戸町鉢森平（7）遺跡 土器2点

未報告 七戸町鉢森平（7）遺跡 木製品1点

八戸市鹿島沢古墳群出土金属器 20点（八戸市からの依頼により実施）

◇過年度の実績

元年～4年度は機器の不調のため撮影実績なし。

エ 赤外線撮影装置の使用

主に土器や木製品の表面に描かれた墨書を確認するために使用するものである。
令和5年度の実績は以下のとおり。

◇令和5年度の実績

第281集 八戸市売場遺跡 墨書土器 1点

第306集 八戸市黒坂遺跡 墨書土器 1点

第325集 青森市朝日山（2）遺跡 墨書土器 2点

第575集 西目屋村水上（2）遺跡 アスファルト付土偶 1点

八戸市博物館収蔵の棟札 1点（八戸市からの依頼により実施）

◇過年度の実績

元年～令和4年度は機器の不調のため実績なし。

（2）再整理

既に報告書が刊行されている出土品について適切な収蔵・保存状態を維持するため、センターが定めた収納保管に係るマニュアルに則して出土品の状態や収納状況を確認するための再整理業務を令和5年度から実施している。その過程で、今日的な学術的視点から資料の見直しを行ったところ、希少性・重要性が認められる出土品を抽出した。今後はこれらの報告や公開を行いながら、市町村への譲与や、資料の公開・活用などの要望に応える体制を整えていく。

令和5年度は、第25集中ノ平遺跡発掘調査報告書の出土品を対象とした。報告書掲載遺物を確認するとともに、385箱の出土品を再整理し、希少性・重要性のある遺物等を抽出した。

3 発掘調査事業に係る広報

(1) 現地見学会

埋蔵文化財発掘調査によって得られた成果を一般県民等に公開し、地域史の理解と周知を図った。

| 遺跡名 | 開催日 | 参加人数 |
|---------|--------------|------|
| 郷山前村元遺跡 | 令和5年7月8日(土) | 156 |
| 米山(2)遺跡 | 令和5年9月7日(木) | 33 |
| 鳴瀬遺跡 | 令和5年10月1日(日) | 23 |

◇開催実績

| 年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 開催遺跡数 | 3 | ※ | 1 | 1 | 3 |
| 参加者総数 | 177 | | 70 | 72 | 212 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催せず

(2) あおもり発掘フェア（旧青森県埋蔵文化財発掘調査報告会）

当年度に青森県内で行われた埋蔵文化財発掘調査の成果及び埋蔵文化財の活用に関する事例を広く県民に公開し、青森県の歴史と埋蔵文化財の保護・活用について理解を深めてもらうことを目的に開催している。

平成2年度に開催した「青森県埋蔵文化財発掘報告会」を平成3年度に「青森県埋蔵文化財発掘調査報告会」と改称し以降毎年開催していたが、令和5年度は体験学習と活用事業に関する展示を加えた「あおもり発掘フェア」として開催した。

フェアでは、県、市町村及び大学等が令和5年度に県内で行った発掘調査について、紙上報告を含め12遺跡の発表を行うとともに、来場者にはレジュメを配布した（PDFデータを公式ホームページに掲載）。出土品・パネル展示では、成果報告遺跡やトピック展示、活用事業報告等について、出土品535点と写真パネルを展示した。また、展示会場で県立図書館による関連図書の展示・貸出を行った。

新たな試みとして2日目には体験メニューとして「本物の土器や石器にさわろう」、簡易な拓本体験を組み込んだ「JOMON缶バッジ作り体験」を実施した。また、来場者に「あおもり縄文カード」を配布した。

開催日 令和5年12月9日（土）・10日（日）

場 所 青森県総合社会教育センター（青森市）

参加者 206人

実施内容

○発掘調査成果報告(スライドショーによる成果発表)及び出土品・パネル展示

- ・青森市米山(2)遺跡(当センター)
- ・青森市郷山前村元遺跡(当センター)
- ・弘前市鳴瀬遺跡(当センター)
- ・八戸市松ヶ崎遺跡(八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館)

- ・ 南部町聖寿寺館遺跡（南部町教育委員会）
 - ・ 横浜町林ノ後遺跡（当センター）
 - ・ 東通村尻安部洞窟（尻安部洞窟遺跡発掘調査団）
 - ・ 三沢市平畑(3)遺跡（三沢市教育委員会）
 - ・ 七戸町鉢森平(7)遺跡（当センター）
 - ・ つがる市亀ヶ岡遺跡（つがる市教育委員会）
 - ・ 五所川原市五月女菴遺跡（五所川原市教育委員会）
 - ・ 弘前市清水森西遺跡（弘前大学人文社会科学部）※紙上報告のみ
 - ・ 当センターの普及・活用に関する取り組み ※パネルのみ
- トピック展示
- ・ 縄文カードになった資料展：三八地域と西北地域の縄文カード22枚に使用した写真の出土品を展示
 - ・ 特別展示：田子町教育委員会所蔵資料
（石亀遺跡出土岩偶・野面平遺跡出土岩偶等）
- 体験学習会
- ① 「本物の土器や石器にさわろう」と題し、職員の解説と共に縄文土器や石器を見学者が自由に触る体験を実施
 - ② JOMON缶バッジ作り
縄文土器の破片にかぶせた紙の上を色鉛筆でこする、「乾拓」でできたカラフルな拓本を、缶バッジにして持ち帰る体験を実施

◇開催実績

| 年 度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-----------|------|------|------|-----|-----|
| 参加者（名） | 186 | ※ | | 195 | 206 |
| 報告遺跡（件） | 14 | 7 | 5 | 15 | 12 |
| 出土品展示数（点） | 記録なし | 展示なし | 展示なし | 526 | 535 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため資料配布とオンライン配信のみ

4 センター収蔵資料の活用

(1) 主催事業

ア 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業（重点事業）（令和4年度～6年度）

「地元の縄文」の価値や魅力を多くの県民にわかりやすく伝え、青森に生まれた子ども達が「青森の縄文に触れた原体験」を誇りに思うことができるよう「地元の縄文」の活用促進を目的とする「取組1」と、「地元の縄文」の魅力の再発見と情報の発信を行う「取組2」を実施。

(ア) 取組1（活用促進）

① 地域連携会議

各対象地域市町村と埋蔵文化財の活用促進について意見交換するとともに、「地元の縄文」再発見フェア開催地域における発掘成果と出土品に関する概要報告、県所蔵出土品の活用案の提示、埋蔵文化財の保護と活用に関する事例報告等を行った。

【三八地域】 7月5日（水）三戸町中央公民館

【西北地域】 9月29日（金）五所川原市中央公民館

② 教材の制作

地域の発掘調査による出土品を用いた教材「あおり縄文遺物セット」及び指導者用の取扱説明書を制作し県内全市町村に配布。令和5年度は三八地域と西北地域が対象。1セットの内容は、土器破片40点以上、石器10～12点、取扱説明書3部

【三八地域】 40セット制作 三八地域全7市町村教育委員会に配布

【西北地域】 20セット制作 西北地域全7市町教育委員会に配布

(イ) 取組2 (魅力再発見・情報発信)

① 「地元の縄文」再発見フェアの開催

「地元の縄文」の魅力を再発見してもらうため、出土品展示会、体験学習会、講演会・シンポジウムの3要素で構成されるフェアを開催した。令和5年度は三八地域・西北地域を対象とした。

◎「地元の縄文」再発見フェアinさんばち

開催期間：9月16日（土）～18日（月・祝）

共 催：三戸町教育委員会

会 場：三戸町民体育館（出土品展示会・体験学習会）

三戸町中央公民館（講演会・シンポジウム）

来場者数：488名（16日：108名、17日：208名、18日：172名）

i 出土品展示会：三八地域の出土品1,150点露出展示、パネル199点展示

ii 体験学習会

出土品に触れたり昔の道具を使用しながら縄文時代について学ぶ

・クイズ「(縄文土器を古い順にならべてみよう)」「(縄文土器の)なかまみつけ」

・ハンズオン「(土器や石器に)さわってみよう」

・ものづくり体験「(カラフルな拓本で)JOMON缶バッジ作り」

・縄文体験 「弓矢体験」・「石器を使って紙を切る」・「敲石を使ったクルミ割り」・「火おこし」

iii 講演会・事例報告・シンポジウム

参加者 76名

基調講演「さんばちの縄文時代」野田尚志（三戸町教育委員会）

事例報告「八戸市と階上町の縄文時代」市川健夫（八戸市博物館）

「新郷村と五戸町の縄文時代」村本恵一郎（五戸町教育委員会）

「田子町・三戸町・南部町の縄文時代」岡本洋（当センター）

iv シンポジウム「再発見“さんばちの縄文”－沿岸と内陸の縄文文化を語る－」

パネリスト：野田尚志・市川健夫・村本恵一郎・岡本洋

コーディネーター：木村高（当センター）

※当日フェアレジュメ及び三八地域縄文カードを配布

◎「地元の縄文」再発見フェアinせいほく

開催期間：11月11日（土）～12日（日）

共 催：五所川原市教育委員会

会 場：五所川原市中央公民館

来場者数：413名（11日：184名、12日：229名）

i 出土品展示会：西北地域の出土品500点露出展示、パネル152点展示

ii 体験学習会：三八フェアと同じ

iii 講演会・事例報告・シンポジウム

参加者 75名

基調講演「せいほくの縄文時代」 齋藤淳（中泊町博物館）

事例報告「津軽平野の縄文時代1」江戸邦之（五所川原市教育委員会）

「津軽平野の縄文時代2」小林和樹（つがる市教育委員会）

「西海岸の縄文時代」岡本洋（当センター）

iv シンポジウム「再発見“せいほくの縄文”-平野と沿岸の縄文文化を語る-」

パネリスト 齋藤淳・江戸邦之・小林和樹・岡本洋

コーディネーター 木村高（当センター）

※当日フェアレジュメ及び西北地域縄文カードを配布

② あおもり縄文カードの作成

青森県内全40市町村から出土した縄文遺物の写真に解説文を添えたカードを作成し、当センター及び県内の道の駅・登録博物館・博物館類似施設、その他各地の拠点的な公開施設等で合計50,000枚（1種類につき500枚）配布した。

（ウ）過年度の取組実績

令和4年度下北・中南地域を対象に同様の取組を実施した。

◇令和4年度取組実績

| 取組内容 | 期日等 | 下北地域 | 中南地域 | |
|-------------------|-------|----------|-----------|------|
| 地域連携会議 | 開催期日 | 7月1日 | 9月30日 | |
| | 会 場 | むつ市中央公民館 | 黒石公民館 | |
| 教材セット制作数 | | 22セット | 38セット | |
| 「地元の縄文」 再発見フェア | 開催期日 | 9月17・18日 | 11月26・27日 | |
| | 会 場 | むつ来さまい館 | スポカルイン黒石 | |
| | 展示物 | 遺 物 | 560点 | 650点 |
| | | 展示パネル | 172点 | 164点 |
| | 観覧者数 | | 395名 | 395名 |
| | (1日目) | | 110名 | 178名 |
| (2日目) | | 285名 | 217名 | |
| シンポジウム参加者数 | | 70名 | 77名 | |
| あおもり縄文カード作成数 | | 100種類 | 85,000枚 | |

イ 夏休みに考古学者になろう

郷土の歴史に親しみながら埋蔵文化財保護の意識を高めることを目的に、児童・生徒が実際の発掘調査や整理作業を体験するイベント。平成14年から実施し、令和5年度で第20回となる。

(ア) 発掘体験（7月26日）

会場：青森市米山(2)遺跡

内容：遺物包含層の掘削と遺物の写真撮影、遺物の観察、発掘成果報告会

参加者：児童・生徒10名、保護者5名、計15名

(イ) 整理体験（7月27日）

会場：青森県埋蔵文化財調査センター

内容：埋蔵文化財調査センターの概要説明、施設見学、土器の接合、拓本、実測図作成と遺物の観察

参加者：児童・生徒12名、保護者6名、計18名

◇開催実績

| 年度 | 元年度 | 2・3年度 | 4年度 |
|--------|-------------------------|-----------------------|----------------------------|
| 発掘体験会場 | 七戸町 猪ノ鼻(1)遺跡 | 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため | 八戸市北熊ノ沢(2)遺跡 ・毛合清水(3)遺跡 |
| 参加者 | 児童・生徒16名 保護者13名、計29名 | | 児童・生徒12名 保護者9名、計21名 |
| 整理体験会場 | 七戸町中央公民館 | 中止 | YSアリーナ八戸 |
| 参加者 | 児童・生徒7名 保護者7名、計14名 | | 児童・生徒11名 保護者7名、計18名 |

ウ 見学等

(ア) 展示見学

青森県の歴史や埋蔵文化財の保存・活用について理解を深めてもらうため、発掘調査成果及び出土品を来館者に展示・公開している（所内展示）。展示は平日午前9時～16時まで自由に見学可能（年末年始及び年度末から年度始めの2週間は見学不可）。

正面玄関ホールでは令和元年度から継続して五所川原産須恵器大甕3点（山元(3)遺跡、野尻(2)遺跡出土）を、展示ケース内に主に前々年度刊行した発掘調査報告書に掲載している出土品等を中心に展示している。

(イ) 団体見学

学校などの団体を対象とした施設見学を実施している。内容は当センターの施設や業務について職員が解説・紹介するもので概ね小学校高学年以上が対象。課外授業等で活用されている。（事前の予約が必要）

(ウ) 蔵書閲覧

当センターの蔵書を閲覧できるサービス、平日のみ対応し、事前申込が必要。

◇所内展示実績

| 年 度 | 概 要 |
|-------|---|
| 5 年 度 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ常設展」として特定のテーマを設けず縄文時代から平安時代の珍しい出土品を34点展示 ・パネル展示：むつ市酪農(3)遺跡の解説や大型の土偶写真(小川忠博氏撮影)、東北自動車道建設に伴う発掘調査の空中写真(大平遺跡、砂沢平遺跡、古館遺跡、大面遺跡、永野遺跡)、「地元の縄文」再発見プロジェクトの紹介 |
| 4 年 度 | <p>「新収蔵展」として令和2年度に報告書を刊行した猪ノ鼻(1)・(2)遺跡、林ノ脇遺跡、古野(2)遺跡の出土品のほか、水上(2)遺跡出土土偶や二股(2)遺跡、山田(2)遺跡、涌館遺跡、熊ヶ平遺跡、沢ノ黒遺跡出土の玦状耳飾を展示</p> |
| 3 年 度 | <p>「新収蔵展」として令和元年度に報告書を刊行した後平(1)・(4)遺跡、長谷川遺跡、銅屋(1)遺跡、古野(3)遺跡、館遺跡、西張(3)遺跡、米山(2)遺跡の出土品を展示</p> |

◇展示見学者数実績(単位：名)

| 年 度 | 元年度 | 2 年 度 | 3 年 度 | 4 年 度 | 5 年 度 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 見学者数 | 55 | 17 | 10 | 30 | 74 |

◇団体施設見学件数及び参加者数実績(単位：名)

| 年 度 | 元年度 | 2 年 度 | 3 年 度 | 4 年 度 | 5 年 度 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 件 数 | 7 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 人 数 | 39 | 3 | 17 | 38 | 56 |

◇蔵書閲覧の実績(単位：件)

| 年 度 | 元年度 | 2 年 度 | 3 年 度 | 4 年 度 | 5 年 度 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 件 数 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 |

(2) 依頼による活用事業

ア ジョブキッズあおもり

R A B 青森放送が主催する児童を対象とした職業体験。当センターにおいて整理作業体験を行った。

◇開催実績

| 年度 | 元年度 | 2・3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-----|--|---------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 期 日 | 8月21・22日 | | 8月19日 | 8月18日 |
| 内 容 | 遺物の洗浄と 拓本 | 新型コロナウイルス感染症感染 拡大防止のため | 土器の拓本 遺物の観察 縄文施文体験 | センターの概要説明 断面実測、土器の 拓本遺物の観察 |
| 参加者 | (21日)33名 児童17名保護者16名 (22日)22名 児童11名保護者11名 | 中止 | 20名 児 童10名 保護者10名 | 15名 児 童7名 保護者8名 |

イ 生涯学習フェア

地域の歴史と文化財保護についての理解を深める機会とするため、当センターの教材を利用した体験活動等を実施した。

主催・会場 青森県総合社会教育センター（4Fエレベーター前ホール）

日 時 令和5年10月7日(土) 10:00～15:30

出展内容 センターの仕事紹介（パネル展示）、土器と一緒にはいチーズ！、縄文乾拓体験、縄文原体復元体験、土器接合体験、疑似魚釣り体験

参加人数 138名

| 年 度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|------|-------|-----|-----|-------|-------|
| 開催日 | 10月5日 | ※ | ※ | 10月1日 | 10月7日 |
| 参加人数 | 150名 | | | 参加せず | 138名 |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催せず

ウ 出張展示・連携展示

当センター以外の場所で所蔵品を展示する事業。市町村主催の短期間の催しでゆかりの出土品を展示する出張展示と、県内教育委員会と連携で、一定期間の展示を行う連携展示がある。

(ア) 出張展示

① ニツ森貝塚ふれあいまつり

会 場 ニツ森貝塚館

日 時 令和5年7月2日(日)10:00～15:00

展示内容 主に鉢森平（7）遺跡の写真パネル・遺物展示、資料配布見学者とニツ森貝塚館ボランティアへの解説

参加人数 134名

- ② 横浜町公民館まつり
 会 場 横浜町ふれあいセンター
 日 時 令和5年10月28日(土)9:30～17:00・29日(日)9:30～15:00
 展示内容 林ノ後遺跡等の出土品及び写真パネル展示、資料配付、職員解説
 参加人数 156名
- ③ 西目屋村民文化祭
 会 場 西目屋村中央公民館
 日 時 令和5年11月19日(日)10:00～14:00
 展示内容 津軽ダム建設に伴う発掘調査の出土品及び解説パネルを展示。
 関連遺跡の報告書も展示。
 来場者数 320名 ※文化祭全体の来場者数
- ④ 第32回白神山地ビジターセンターふれあいデー
 会 場 白神山地ビジターセンター
 日 時 令和6年2月18日(日)10:00～14:30
 展示内容 津軽ダム建設に伴う発掘調査の出土品及び解説パネルを展示。
 関連遺跡の報告書も展示。
 来場者数 596人 ※イベント全体の来場者数

◇開催実績

| | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|------|-----------|----------|------|------|--|
| 開催地 | 外ヶ浜町 | むつ市 | 実績なし | 実績なし | ①七戸町 ②横浜町 ③西目屋村 ④西目屋村 |
| 開催日 | 10月26・27日 | 9月12・13日 | | | ①7月2日 ②10月28・29日 ③11月19日 ④2月18日 |
| 参加人数 | 434名 ※ | 105名 | | | ①134名 ②156名 ③320名 ④596名 |

※文化祭全体の来場者数

(イ) 連携展示

| | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|------|-----------------|------|------|------|------|
| 開催地 | 五戸町 | 実績なし | 実績なし | 実績なし | 実績なし |
| 期間 | 6月28日～ 7月28日 | | | | |
| 参加人数 | 529名 | | | | |

エ 講師派遣

埋蔵文化財に対する県民の理解を深め、埋蔵文化財保護意識の普及・啓発を行うため、埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座にセンター職員を派遣した。

◇令和5年度の派遣概要

| 派遣先 | 日時 | 講演テーマ | 参加人数 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------------------|------|
| 弘前市総合学習センター | 6月24日(土) 10:00～11:30 | 酪農(3)遺跡の発掘調査 成果 | 約30人 |
| 青森市北部地区農村環境 改善センター | 10月4日(水) 10:00～12:00 | 青森市高田地区～後潟地 区の中世－発掘調査成果 と出土品－ | 約30人 |
| 平川市文化センター | 10月14日(土) 13:00～ | 発掘調査からみた北東北 の住まい－縄文時代から 現代まで－ | 約20人 |
| 八戸市埋蔵文化財センタ ー－是川縄文館 | 11月11日(日) 14:00～16:00 | 法霊林遺跡発掘調査成果 報告 | 約60人 |
| 青森市東部市民センター | 11月29日(水) 10:00～12:00 | 青森市宮田地区の中世－発掘 調査成果からみた暮らし－ | 約20人 |

◇講師派遣実績

| 年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 14 | 0 | 0 | 5 | 5 |
| 参加人数(約) | 620 | 0 | 0 | 230 | 160 |

オ 写真資料の掲載許可

発掘調査及び報告書刊行に伴い当センターが撮影した写真資料について、書籍等への掲載依頼に応じ掲載を許可した。

◇令和5年度の許可件数

展示会や図録等への掲載目的：12件

動画や書籍等への掲載目的：14件

論文等への掲載目的：2件

◇写真資料掲載許可件数(件)

| 使用目的/年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 展示等 | 15 | 7 | 6 | 3 | 12 |
| 動画・書籍 | 44 | 38 | 27 | 23 | 14 |
| 論文等 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 |

カ 収蔵品の貸出

外部からの依頼に応じて収蔵品を貸出し、公開・活用に供するもの。

主に博物館等での展示の他、研究目的での貸出も増加傾向にある。

令和5年度は16件、599点の収蔵品を貸出した。

◇令和5年度の貸出実績

| | 貸出先 | 内容 | 目的 |
|---|-----------------------|---------------------|------------------------------------|
| ① | つがる市教育委員会 | 中の平遺跡出土土器等 5点 | つがる市縄文住居展示資料館(カルコ)常設展示資料 |
| ② | 七戸町教育委員会 | 二ツ森貝塚出土鹿角製櫛(県重宝)等6点 | 二ツ森貝塚館常設展示資料 |
| ③ | 弘前市立博物館 | 境関館遺跡出土品 6点 | 弘前市立博物館常設展示資料 |
| ④ | 五戸町教育委員会 | 西張平遺跡出土品 58点 | ごのへ郷土館常設展示資料 |
| ⑤ | おいらせ町教育委員会 | 中野平遺跡出土品 3点 | おいらせ阿光坊古墳館常設展示資料 |
| ⑥ | 七戸町教育委員会 | 猪ノ鼻(1)遺跡等出土品195点 | 二ツ森貝塚館の企画展示「坪川流域の遺跡展」展示資料 |
| ⑦ | 三内丸山遺跡センター | 岩渡小谷(4)遺跡ほか出土資料76点 | 企画展「三内丸山と漆」展示資料 |
| ⑧ | 六ヶ所村立郷土資料館 | 富ノ沢(2)遺跡出土ヒスイ1点 | 企画展「今よみがえる富ノ沢遺跡」展示資料 |
| ⑨ | 八戸市立博物館 | 馬場瀬遺跡ほか出土品 11点 | 秋季特別展「J-mode縄文の流儀」展示資料 |
| ⑩ | 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 | 法霊林遺跡出土品 33点 | 企画展「掘りdayはちのへー令和元年度～4年度発掘資料展ー」展示資料 |
| ⑪ | おいらせ町教育委員会 | 中野平遺跡出土品 78点 | 季節展「おいらせ町の縄文展」展示資料 |
| ⑫ | 青森市立女鹿沢小学校 | 縄文土器等 62点 | 小学校社会科授業の教材 |
| ⑬ | 研究者 | 市子林遺跡ほか出土人骨1式 | 科研費事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」 |
| ⑭ | 研究者 | 林ノ前遺跡出土金付着埴塼1点 | 出土品の分析 |
| ⑮ | 研究者 | 林ノ前遺跡出土遺物 50点 | 出土品の分析 |
| ⑯ | 研究者 | 舟場向川久保(2)遺跡出土遺物13点 | 出土品の分析 |

◇収蔵品貸出の実績

| 年度 | 元年度 | 2年度 | 3年 | 4年度 | 5年度 |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 21 | 11 | 13 | 16 | 16 |
| 点数 | 1,737 | 853 | 396 | 905 | 599 |

キ 資料調査

資料借り受けに先立つ事前調査や研究目的での調査を受け入れている。
令和5年度は13件、535点の依頼に対応した。

◇資料調査の対応実績

| 年 度 | 元年度 | 2 年 度 | 3 年 度 | 4 年 度 | 5 年 度 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 件 数 | 7 | 5 | 20 | 28 | 13 |
| 点 数 | 535 | 387 | 1,059 | 3,235 | 535 |

5 刊行物一覧

- ① 酪農(3)遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第641集
- ② 鉢森平(6)遺跡 青森県埋蔵文化財調査報告書第642集
- ③ 毛合清水(3)遺跡外 青森県埋蔵文化財調査報告書第643集
- ④ 戸来館遺跡Ⅱ 青森県埋蔵文化財調査報告書第644集
- ⑤ 研究紀要第29号

※①～⑤については、PDFデータを全国遺跡報告総覧に登載した。

上記の他、過去に当センターが刊行した発掘調査報告書及び研究紀要についても登載しているので、下記アドレスにアクセスすると閲覧できます。

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

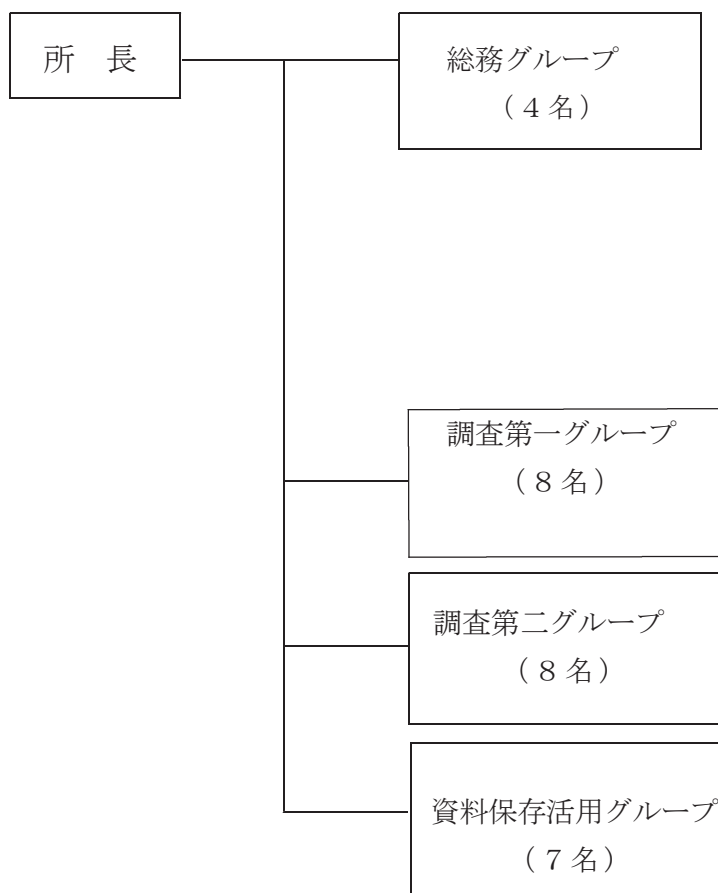
◇報告書刊行実績は(2) 整理・報告書刊行事業(本要覧3ページ)参照のこと。

◇研究紀要刊行実績

| 年 度 | 元年度 | 2 年 度 | 3 年 度 | 4 年 度 | 5 年 度 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 号 数 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 総頁数 | 74 | 30 | 90 | 127 | 88 |

【令和6年度の計画】

1 組織・職員現員・業務



【総務G】

予算管理、執行
施設設備管理
(センター、各収蔵庫)
発掘調査・整理・研究等に
係る物品調達・管理
監査、検査 庶務
整理作業員任用
情報公開

【調査第一G、調査第二G】

埋蔵文化財の調査・研究

- ・記録保存のための発掘調査
- ・出土した文化財の整理・調査
報告書の刊行
- ・安全衛生
- ・発掘作業員任用
- ・職員研修

埋蔵文化財の活用

- ・発掘現地説明会の開催

【資料保存活用G】

埋蔵文化財の保存管理

- ・発掘調査記録類、土遺物、関連
図書等の資料の収蔵、保管

埋蔵文化財の活用

- ・資料の貸出、展示、発掘成果の公開
- ・重点事業
- ・あおり発掘フェアの開催

その他の文化財保護に関する業務

- ・広報活動、研究紀要の刊行、専門
的技術指導等

2 埋蔵文化財発掘調査事業、整理・報告書刊行事業

開発事業により消滅する埋蔵文化財包蔵地を発掘調査し、記録保存のための報告書を作成・刊行する。

(1) 発掘調査事業

令和6年度は、5事業・5遺跡（調査予定面積11,800㎡）の発掘調査を行う予定である。

ア 国道338号大湊バイパス道路改築事業（むつ市川守町遺跡）

所在地 むつ市川守町地内
調査期間 令和6年5月8日(水)～令和6年10月11日(金)
調査面積 5,500㎡
委託者 青森県県土整備部（道路課）

イ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業（横浜町林ノ後遺跡）

所在地 上北郡横浜町字中柁名木地内
調査期間 令和6年9月3日(火)～令和6年10月18日(金)
調査面積 2,200㎡
委託者 青森県県土整備部（道路課）

ウ 稲盛千代町山田線道路改築事業（つがる市吉田遺跡）

所在地 つがる市森田町下相野吉田地内
調査期間 令和6年6月4日(火)～令和6年9月20日(金)
調査面積 2,000㎡
委託者 青森県県土整備部（道路課）

エ 内童子渡沢外通常砂防事業（平内町大栗山遺跡）

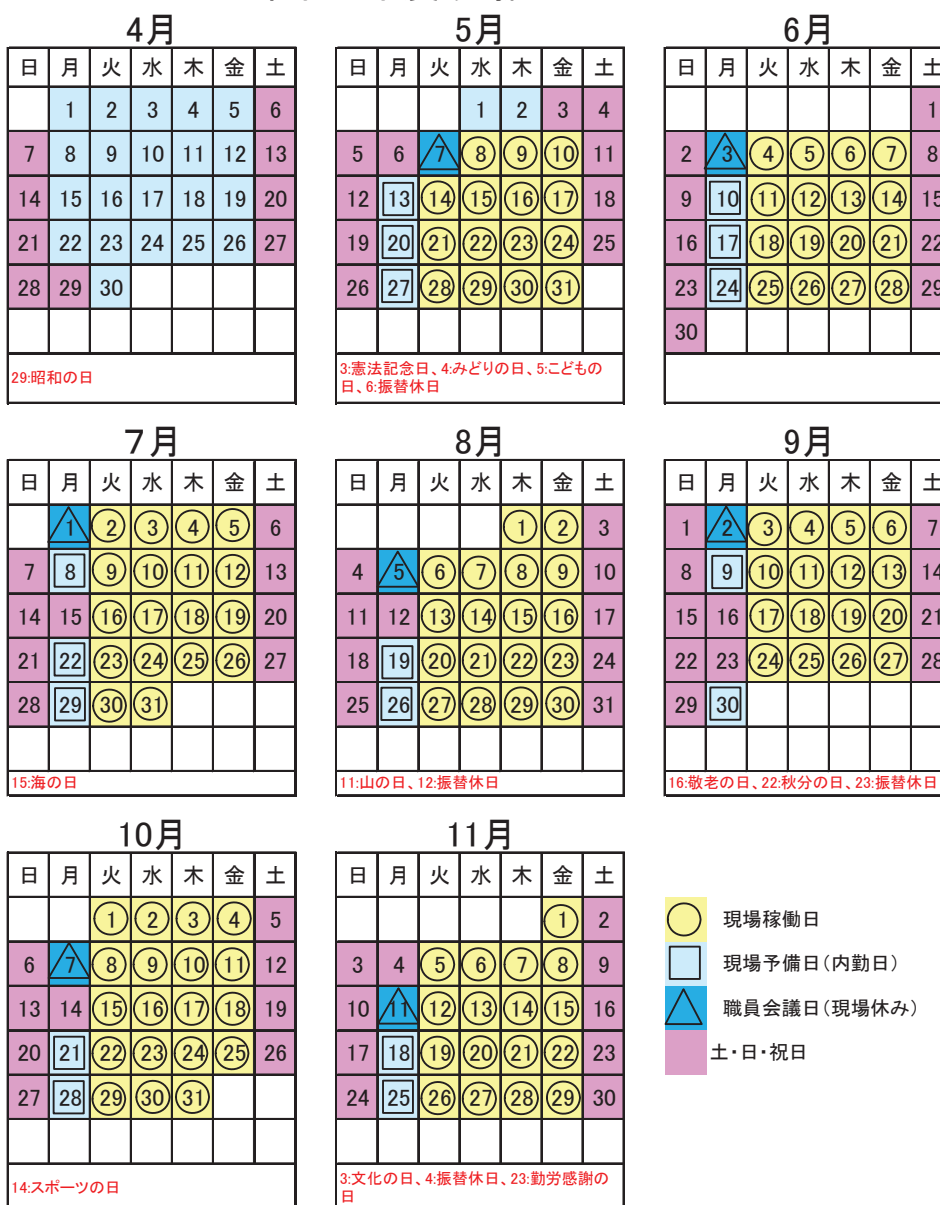
所在地 東津軽郡平内町大字松野木字大栗山地内
調査期間 令和6年5月14日(火)～令和6年6月21日(金)
調査面積 1,100㎡
委託者 青森県県土整備部（河川砂防課）

オ 下北北部地区中山間地域総合整備事業（風間浦村古釜谷平(2)遺跡）

所在地 下北郡風間浦村大字蛇浦字古釜谷平地内
調査期間 令和6年5月14日(火)～令和6年7月31日(水)
調査面積 1,000㎡
委託者 青森県農林水産部（農村整備課）

| 遺跡名 | 調査予定期間 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
|-----------|-------------|-------|-------|----|----|-------|-----|--|
| 川守町遺跡 | 5月8日～10月11日 | ————— | | | | | | |
| 林ノ後遺跡 | 9月3日～10月18日 | | | | | ————— | | |
| 吉田遺跡 | 6月4日～9月20日 | | ————— | | | | | |
| 大栗山遺跡 | 5月14日～6月21日 | ————— | | | | | | |
| 古釜谷平(2)遺跡 | 5月14日～7月31日 | ————— | | | | | | |

令和6年度 発掘カレンダー



(2) 整理・報告書刊行事業

令和6年度は、5事業・5遺跡に係る発掘調査報告書4冊（合計1,002頁）の刊行と1遺跡の整理作業を行う予定である。

ア 常海橋銀線道路改築事業（郷山前村元遺跡）

所在地 青森市浪岡大字郷山前字村元地内
刊行予定頁数 92頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

イ 国道394号榎林バイパス道路改築事業（鉢森平（7）遺跡）

所在地 上北郡七戸町字鉢森平地内
刊行予定頁数 750頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

ウ 国道279号横浜北バイパス道路改築事業（林ノ後遺跡）

所在地 上北郡横浜町字林ノ後、字中栴名木地内
刊行予定頁数 50頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

エ 弘前柏線道路改築事業（鳴瀬遺跡）

所在地 弘前市大字三世寺字鳴瀬地内
刊行予定頁数 110頁
委託者 青森県県土整備部（道路課）

オ 新青森県総合運動公園整備事業（米山（2）遺跡）

所在地 青森市大字宮田字米山地内
整理予定頁数 170頁相当（令和7年度以降刊行予定）
委託者 青森県県土整備部（都市計画課）

3 出土品等の保存・再整理

(1) 保存処理

未処理出土品の保存処理は、今後5年間で木製品100点、金属製品100点の保存処理を計画しており、令和6年度は木製品20点、金属製品20点の処理を行う予定。これらに付随してX線透過撮影装置や赤外線撮影装置も利用していく。

また、保存処理済みの出土品については、経年劣化により現在約870点の金属器等の再保存処理が必要となっているため、今後も計画的に再処理を進めて行く予定である。令和6年度は金属器1点を文化庁の国庫補助事業を活用した業務委託により再処理する予定。

(2) 再整理

令和6年度は昨年度と同様に、既に報告書が刊行されている出土品について適切な収蔵・保存状態を維持するため、センターが定めた収納保管に係るマニュアルに則して出土品の状態や収納状況を確認するための再整理業務を実施する。その過程で、今日的な学術的視点から資料の見直しを行い、希少性・重要性が認められる出土品を抽出する。今後はこれらの報告や公開を行いながら、市町村への譲与や、資料の公開・活用などの要望に応えるため、出土品の状態や収納状況を再確認する必要がある遺跡の出土品を優先的に行い、写真・図面などの記録類も再整理の対象とする予定。また、令和5年度に着手した第25集中ノ平遺跡出土品の再整理作業も継続する。

4 発掘調査事業に係る広報

(1) 現地見学会

令和6年度発掘調査現場において、一般県民等に向けて調査成果を公開し、地域史の理解と周知を図る。

開催日決定後、当センターホームページ等で周知する。

(2) あおもり発掘フェア

令和6年度は12月21日（土）・22日（日）に青森市内で開催予定。

県内で令和6年度に行われた発掘調査の成果報告と、出土品を用いた体験会を実施予定。

(3) 所内展示

「ミニ常設展」として特定のテーマを設けず縄文時代から平安時代の珍しい出土品を展示する予定。

5 センター収蔵資料の活用

(1) 主催事業

ア 「地元の縄文」再発見プロジェクト

令和6年度は本プロジェクトの最終年度となり、対象地域は上北地域と東青地域となる。これまでと同様、以下の取組を実施予定。

(ア) 取組1（活用促進）

地域連携会議の開催（7月：上北、10月：東青）

教材（あおもり縄文遺物セット）の作成（上北・東青2地域で60セット制作）

(イ) 取組2（魅力再発見・情報発信）

「地元の縄文」再発見フェアの開催（9月：上北、12月：東青）

あおもり縄文カードの制作（第3弾、50種類を予定）

イ 夏休みに考古学者になろう

夏休み期間中の児童・生徒向けのイベント。

令和6年度は発掘体験・整理体験共に7月下旬に開催予定。

(2) 依頼による活用事業

令和6年度も以下のとおり所内展示や団体見学、依頼に応じた出張展示、出前授業等を実施する予定。

○所内での出土品展示見学や蔵書閲覧、団体での見学等

| 事業 | 概要 | 期日・期間等 | 備考 | |
|-------------|------|---|-------------------|---|
| 見 学 等 | 展示見学 | 所内見学コース内の出土品や、パネル等の展示を見学できます(無料・事前申込不要) | 平日※ 9:00～16:00 | ※年末年始・令和6年3月25日～4月5日・令和7年3月24日～4月4日は見学できません |
| | 蔵書閲覧 | 図書室の蔵書を閲覧できます(無料・事前申込必要) | 平日※ 9:00～16:00 | 閲覧のみ(貸出・コピー不可) |
| | 団体見学 | 当センターの業務や諸施設を、職員の解説によりご案内します(事前申込必要) | 随時(平日) | 内容、時間をご相談下さい |

○所外での出土品の展示や講座等

| 事業 | 概要 | 期日・期間等 | 備考 | |
|------------------|---------------|--|--------|------------------------------|
| 展 示 | 出張展示 | 文化祭、各種行事等において、センター調査遺跡の出土品やパネル等を展示します | 随時 | 事前に内容・期間等をご相談下さい |
| | 連携展示 | 県内の博物館、資料館と連携し、センター調査遺跡の出土品、パネル等を展示します | | |
| 講 座 | 所内講座 | 埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座・講演を所内見学とあわせて実施します | 随時(平日) | 5～10人以上の団体対象事前に内容、時間等をご相談下さい |
| | 出前講座 | 埋蔵文化財や考古学に関する講演・講座に当センター職員を派遣します | 随時 | |
| 教 育 支 援 | 学校支援 | 地元の遺跡の出土品等を用いた教材貸出や講師の派遣により授業を支援します | 随時 | 事前に内容・期間等をご相談下さい |
| | 職場体験・インターンシップ | 中・高生の職場体験、大学生のインターンシップを受け入れます(事前申込必要) | 随時(平日) | |

6 令和6年度主要行事予定

| 期 日 | 事 業 名 | 会 場 |
|------------------|-------------------------|-------------------|
| 7月下旬 | 夏休み考古学者になろう | (未定) |
| 9月14日(土)～16日(月) | 「地元の縄文」再発見フェア inかみきた | 三沢市公会堂 |
| 12月21日(土)～22日(日) | 「地元の縄文」再発見フェア inとうせい | 青森県総合社会 教育センター |
| 12月21日(土)～22日(日) | あおもり発掘フェア2024 | 青森県総合社会 教育センター |

資 料

1 図書の受入状況

◇年度別図書受入(冊) (1月25日現在)

| 年 度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 受入数 | 907 | 1,271 | 1,143 | 871 | 846 |

2 文化財関係研修等への参加状況

職員の資質・能力向上を目的に行われた研修や会議への職員の派遣状況

(1) 文化財担当者研修(奈良文化財研究所主催)

◇令和5年度の派遣状況

| | | |
|-----|---------------------|---------------|
| 期 間 | 7月11日～14日 | 10月10日～10月18日 |
| 内 容 | 木質文化財の科学的調査基礎 課程 | 保存科学(金属製遺物) |
| 受講者 | 藤田 祐 | 藤田 祐 |

◇過年度の派遣状況

| 年 度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 |
|-----|--|-------|-------|---------|
| 内 容 | ①保存科学Ⅱ(有機 質遺物)課程 ②報告書デジタル作 成課程 ③文化財デジタルア ーカイブ課程 | 受講者なし | 受講者なし | 文化財写真課程 |
| 受講者 | ①折登 亮子 ②木村 恵理 ③加藤 渉 | | | 長谷川 大旗 |

(2) 文化庁主催の研修会等

ア 埋蔵文化財担当職員等講習会

◇年度別参加状況

| 年 度 | 元年度 | 2 年度 | 3 年度 | 4 年度 | 5 年度 |
|------|-----------|--------------|------|----------------|----------------|
| 開催地 | 札幌市 | 文化庁 | 中止 | 金沢市 | 和歌山市 |
| 日 程 | 8月21日・22日 | 8月26日・27日 | | 8月31日・ 9月1日 | 1月31日・ 2月1日 |
| 受講形式 | 対面 | オンライン | | オンライン | オンライン |
| 参加者 | 木村 高 | 浅田智晴 工藤 忍 | | 中村哲也 | 藤田 祐 |

イ 文化財マネジメント職員養成研修会

◇年度別参加状況

| 年 度 | 元年度 | 2 年度 | 3 年度 | 4 年度 | 5 年度 |
|------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 開催地 | 東京都 | 神奈川県 | 東京都 | 新潟県 | 埼玉県 |
| 日 程 | 9月24日～27日 | 9月8日～11日 | 2月7日～10日 | 9月26日～29日 | 11月7日～10日 |
| 受講形式 | 参加なし | 参加なし | オンライン | 参加なし | 参加なし |
| 参加者 | | | 岡本 洋 | | |

(3) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会に関連する会議・研修会

◇令和5年度の参加状況

| 名 称 | 開催日 | 場 所 | 内容等 | 参加者 |
|-----------------------------|--------------------|---------------------------|------------------------------|--|
| 総 会 | 令和5年 6月8日・9日 | 鹿児島サンロイヤ ルホテル | 総会 記念講演 特別講演 視察見学 | 所長 渡部 泰雄 |
| 第35回 研修会 | 令和5年 10月19日・20日 | 香川県立ミュージ アム | 基調講演 事例報告 施設見学 視察見学 | 調査第二G 文化財保護主査 藤原 有希 |
| 北海道・ 東北地区 ブロック 会 議 | 令和5年 11月16日・17日 | 八戸市埋蔵文化財 センター是川縄文 館 | 会 議 施設見学 視察見学 | 総務G 副参事 佐藤 真理 調査第二G 総括主幹 野村 信生 |

◇過年度の参加実績

| 年 度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | |
|--------------------|-----|------|------|-------------------|-----------------------------|
| 総会 | 日程 | 書面開催 | 書面開催 | 6月9日・10日 那覇市 | |
| | 開催地 | | | | 青森市 |
| | 参加者 | | | | 鈴木学 神 康夫 浅田智晴 今 美咲 |
| 研修会 | 日程 | 資料配布 | 資料配布 | 10月20日・21日 札幌市 | |
| | 開催地 | | | | 福岡市 |
| | 参加者 | | | | 神 康夫 |
| 北海道・東北地区 ブロック会議 | 日程 | 書面開催 | 書面開催 | 10月7日 釧路市 | |
| | 開催地 | | | | 江別市 |
| | 参加者 | | | | 川村和夫 小田川哲彦 |
| | | | | 油布恵美 野村信生 | |

(4) 青森県教育庁文化財保護課主催の研修会

◇令和5年度の参加状況

| | 第1回 | 第2回 |
|-------|---|---|
| 開催場所 | 当センター | 青森県庁（オンライン） |
| 開催日 | 8月31日 | 12月15日 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財保護行政について（文化財保護課） ・発掘調査報告書の作成について（当センター） ・遺物の保管について（当センター） | <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財保護行政の現状と課題（文化庁） ・埋蔵文化財保護行政を担う体制（文化庁） ・埋蔵文化財の活用について（つがる市教育委員会） ・周知の埋蔵文化財包蔵地における届出事務・開発協議等について（文化財保護課） ・令和5年度埋蔵文化財・史跡担当者会議の概要について（文化財保護課） |
| 参加人数※ | 7名 | 19名 |

※当センター参加者のみ

◇過年度の参加実績

| | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 |
|-------|-------|------------|-----------------|-------------------------------|--|
| 開催場所 | 県立図書館 | 総合社会教育センター | 青森県庁 (オンライン) | 第1回:七戸町 第2回: 総合社会教育センター | 第1回:当センター 第2回: 総合社会教育センター (オンライン) |
| 開催日 | 12月3日 | 12月7日 | 12月22日 | 第1回:8月31日 第2回:12月15日 | 第1回:8月31日 第2回:12月15日 |
| 受講人数※ | 6名 | 7名 | | 第1回:2名 第2回:15名 | 第1回:7名 第2回:15名 |

※当センター参加者のみ

沿革

| | | |
|-----------------|----------|---|
| 昭和55年 (1980) | 4月1日 | 青森県埋蔵文化財調査センター設置 本館完成まで教育庁文化課（現文化財保護課）埋蔵文化財整理室使用 |
| | 7月1日 | 青森県埋蔵文化財調査センター開所 本館完成により教育庁文化課埋蔵文化財整理室から移転 |
| 昭和57年 (1982) | 1月18日 | 「埋文あおもり」第1号発行（～平成7年第14号） |
| | 12月6日 | 東北初の弥生期水田跡の立証と研究の功績により「垂柳遺跡調査会（当センター・県教委文化課・県立郷土館）」が東奥賞受賞 |
| 平成2年 (1990) | 3月16日 | 八戸市葦窪遺跡(1982年調査)出土の「狩猟文土器」1点が県重宝指定 |
| | 3月23・24日 | 第1回埋蔵文化財調査報告会(現「あおもり発掘フェア」)開催 |
| 平成5年 (1993) | 7月 | 松原分室設置(三内丸山遺跡出土品管理作業に対応) |
| 平成6年 (1994) | 12月3日 | 三内丸山遺跡の発掘・研究と積極公開の功績により東奥賞受賞 |
| 平成7年 (1995) | 4月1日 | 教育庁文化課内に三内丸山遺跡対策室が設置され、三内丸山遺跡発掘調査及び出土品整理等を引き継ぐ |
| | 6月15日 | 六ヶ所村大石平遺跡(1984年調査)出土品198点が国重要文化財に指定 |
| 平成8年 (1996) | 3月29日 | 「研究紀要」第1号発行 |
| 平成10年 (1998) | 7月22日 | 旧情報処理センターを一部改修し、当センター新館とし主要機能を移転、木製品・鉄製品の保存処理のための機器及び軟X線透過装置導入、遺物の収蔵展示等の設備拡充が図られる |
| 平成14年 (2002) | 8月8・9日 | 第1回「夏休みに考古学者になろう」開催 |
| 平成15年 (2003) | 4月14日 | 六ヶ所村表館(1)遺跡(1987年調査)出土の「細隆起線文尖底深鉢形土器」1点が県重宝に指定 |
| 平成25年 (2013) | 4月17日 | 七戸町二ツ森貝塚(1967年調査)出土の「鹿角製櫛(ろっかくせいくし)」と青森市近野遺跡(2003年調査)出土の「人物線刻石冠(せっかん)」の2点が県重宝に指定 |
| 令和元年 (2019) | 6月27日 | 新館長寿命化改修工事終了 |
| 令和2年 (2020) | 10月12日 | 本館長寿命化改修工事終了 |

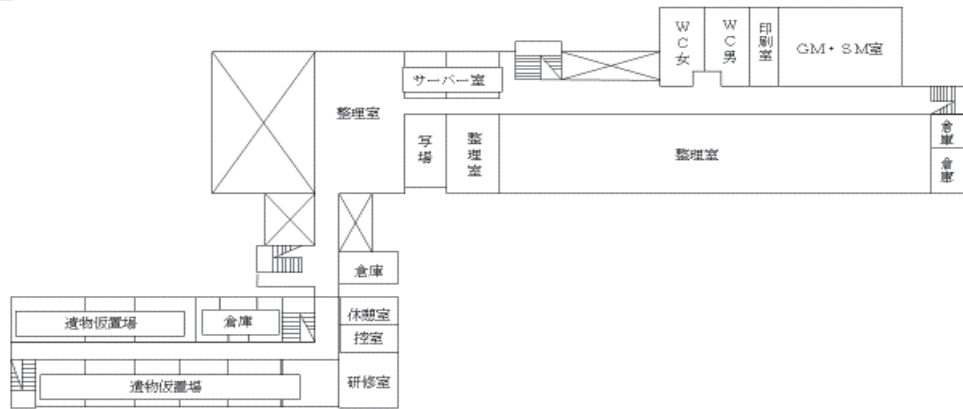
| | | |
|----------------|----------------|---|
| 令和4年 (2022) | 1月18日 | 「地元の縄文」再発見プロジェクト実施（～令和6年度） 収蔵庫（体育館）長寿命化改修工事終了 |
| 令和5年 (2023) | 3月 12月9・10日 | X線透過装置等、保存処理機器を更新 埋蔵文化財調査報告会の内容を見直し、あおもり発掘フェアに名称変更 |

施設概要

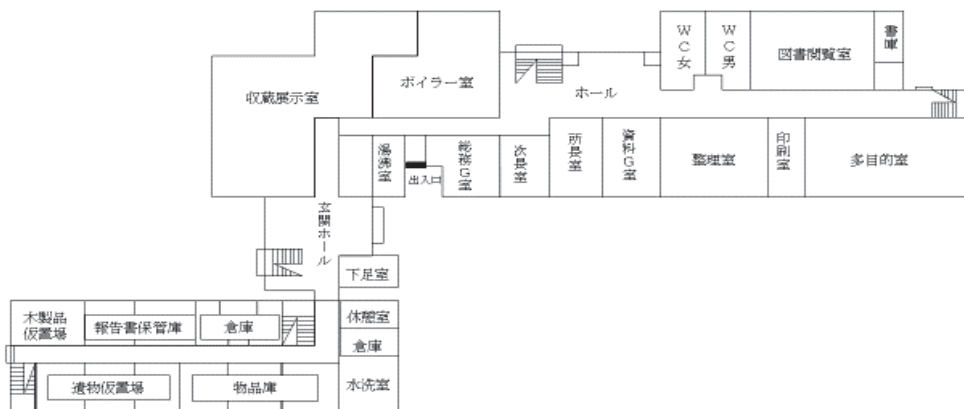
平面図

新館

2階



1階

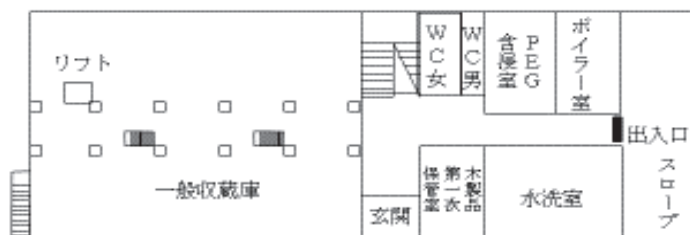


本館

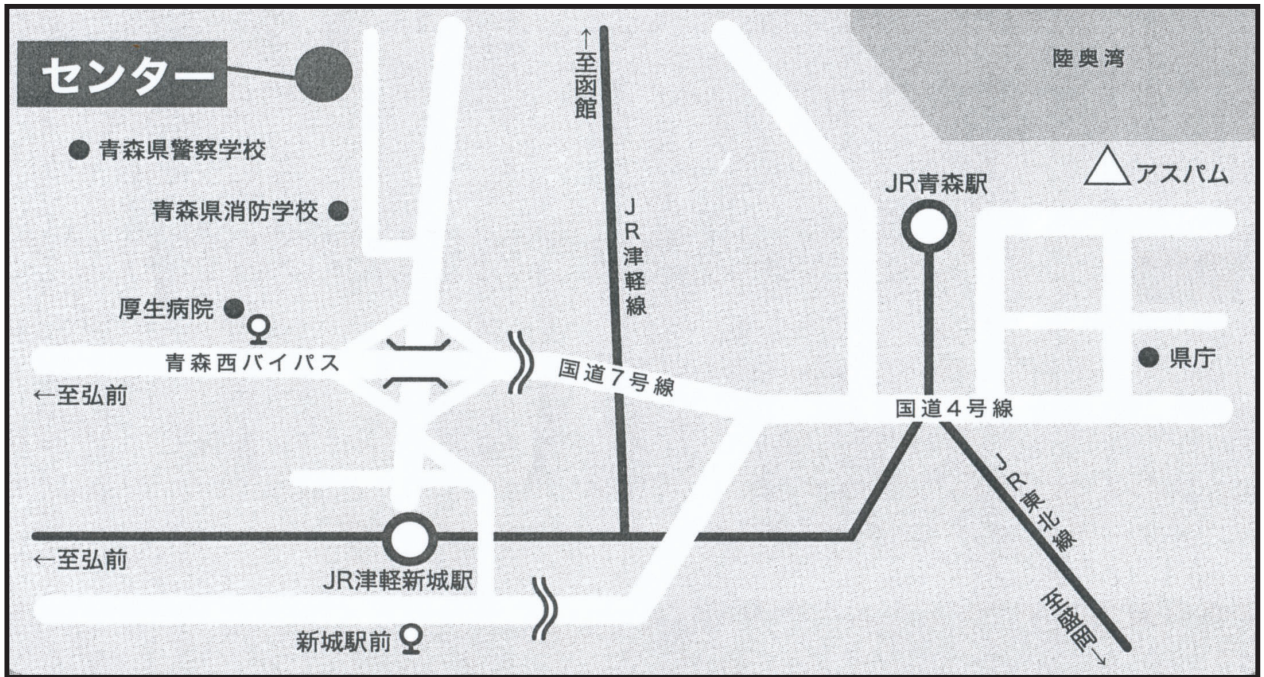
2階



1階



案内図



配置図



令和6年度 青森県埋蔵文化財調査センター 要 覧

令和6年5月24日発行

編集・発行 青森県埋蔵文化財調査センター

〒038-0042

青森市新城字天田内152-15

電話 017-788-5701